

職員による自己評価

A環境面

- ・適切な活動スペースを確保し、活動しやすい環境を整えている。建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいが安全面に留意し設備等の配置を行っている。

B業務改善

- ・施設会議や朝礼等で周知し、全職員の意識づけを行っている。
- ・保護者からのご意見を大切にし、改善が必要な場合は迅速に対応している。
- ・定期的に研修を行い、支援の質の向上に努めている。

C適切な支援の提供

- ・保護者面談や職員会議を行い、ニーズを把握し、一人ひとりの発達や課題に応じて支援計画書を作成している。

D関係機関との連携

- ・関係機関と情報交換等を行い、連携を図っている。

E保護者への説明責任・信頼関係

- ・定期的な面談や保護者会を実施している。
- ・相談等があった場合は、電話や面談等にて迅速かつ適切に対応している。

F非常時等の対応

- ・マニュアルを策定し、研修等を行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・活動スペースは十分だと思う。
- ・エレベーターがないのをたまに不便に感じる。

B適切な支援の提供

- ・子供や親の事情を組んだ計画になっていると思う。
- ・色々なプログラムがあり、子供が楽しみにしている。

C保護者への説明等

- ・常に状況を伝えてくれ、対応も早く安心してている。
- ・いつも丁寧に対応され、細かなところまで、配慮してくださっている。

D非常時等の対応

- ・されている。
- ・避難訓練の後は子供がしっかりと振り返りが出来ている。

E満足度

- ・休みたくないと言うぐらい楽しみにしている。
- ・毎回とても楽しみにしていて、家でも活動内容をよく話してくれる。
- ・非常に満足。

事業所内での分析

【共通点】

- ・子供への日々の支援や、保護者対応については、適切かつ迅速な対応にて、成長や満足度に繋がっている。

【相違点】

- ・障がいのない子どもとの交流

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・一人ひとりの発達や課題に応じて支援を行っている。また、児童、保護者の気持ちに寄り添いながら支援を行っていることで、児童からも保護者からも高い評価をいただけている。
- ・イベントや様々な体験等の機会を多く設け、児童や保護者の満足度に繋がっている。
- ・日々の支援が成長に繋がっている。

事業所の改善点

- ・コロナ禍もあり、他者との交流が難しい状況ではあったが、今後は日々の支援やイベント等の改善を行いながら、障がいのない子どもとの活動や交流を増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者アンケートでは、全員の方から高い評価をいただけた。ただ、障がいのない子どもとの活動機会には「どちらともいえない」という回答が多かったことを踏まえ、他者との交流を今後さらに増やしていく必要があると感じた。今後も質の高い支援に努め、より一層の努力と改善を図っていきたい。

事業所名 くれよんきっず

担当者 管理者 小泉 沙耶香